

プログラム概要

【1日目：12月8日（土）】

9:00 受付開始（2143大講義室前）

9:30～9:45 開会挨拶

9:45～11:45 第1セッション「広島県農業ジーンバンクの歴史に学び未来を拓く」

座長解題：西川 芳昭（龍谷大学）

報告：船越 建明（広島県農業ジーンバンク）

渡辺 敬（渡辺農場）

坂田 一樹（インスマート株式会社）

小林 邦彦（総合地球環境学研究所）

11:45～13:00 昼食休憩

13:00～14:40 第2セッション「有機農業者参加型研究で見えてくる生物多様性農業」

座長解題：日鷹 一雅（愛媛大学大学院）

報告：岩見 潤治

（七三農園・広島県有機農業研究会・ヒョウモンモドキ保護の会）

星野 滋（広島県立総合技術研究所 農業技術センター）

（14:40～14:50 休憩）

14:50～16:20 第3セッション「有機農業の経営・地域ビジョン」

座長解題：尾島 一史（西日本農業研究センター）

報告：森 昭暢（安芸の山里農園 はなあふ）

田邊 真三（(株) TANABE FARM）

（16:20～16:30 休憩）

16:30～18:00 第4セッション「地域を繋ぐ有機農業の未来を考える」

モデレーター：吉川 成美（県立広島大学）

報告：小野 邦彦（株式会社坂ノ途中）

塩川 実（有限会社NICO NICO YASAI）

平木 久恵（GRANDE ひろしま）

18:30～20:00 懇親会

セッション概要

第1セッション「広島県農業ジーンバンクの歴史に学び未来を拓く」

座長解題 西川 芳昭（龍谷大学）

報告

「広島県農業ジーンバンクの歴史と未来」

船越 建明（（一財）森林整備農業振興財団ジーンバンク）

「自家採種の実際と地域とのかかわり」

渡辺 敬（渡辺農場）

「企業としてジーンバンクの種子を活用する試み」

坂田 一樹（インスマート株式会社）

「ジーンバンクの種子を利用するための法と制度：国際法、国内法、契約の観点から」

小林 邦彦（総合地球環境学研究所）

第2セッション「有機農業者参加型研究で見えてくる生物多様性農業」

座長解題 日鷹 一雅（愛媛大学大学院）

報告

「虫屋の視点で考えた、里山～圃場の生態系を活かした有機農業への挑戦」

岩見 潤治（広島県有機農業研究会）

「今後の生物多様性農業に向けた有機農業農家参加型研究に関する課題と展望：

環境にやさしい農業から有機農業、生物多様性管理へ」

星野 滋（広島県立総合技術研究所農業技術センター）

第3セッション「有機農業の経営・地域ビジョン」

座長解題 尾島 一史（西日本農業研究センター）

報告

「安芸の山里農園 はなあふ の経営・地域ビジョン」

森 昭暢（安芸の山里農園 はなあふ）

「株式会社 TANABE FARMの経営・地域ビジョン」

田邊 真三（（株）TANABE FARM）

第4セッション「地域を繋ぐ有機農業の未来を考える」

モデレーター 吉川 成美（県立広島大学）

報告

「有機農業の価値を考える：坂ノ途中の取り組みを通じて」

小野 邦彦（株式会社坂ノ途中）

「地域を繋ぐ有機農業の未来を考える：

ベトナムにおける有機農産物の生産と販売の実践から」

塩川 実（有限会社NICO NICO YASAI）

「広島で地域を繋ぐ：「里山・里海・まち」有機農業も人びとが主役に」

平木 久恵（GRANDE ひろしま）

個別報告一覧 (A)

12月9日 A会場 (2333小講義室) 9:00-11:40

時間	座長	発表者	所属	タイトル	番号
9:00- 9:20	酒井 徹 (秋田県立 大学)	藤田正雄	有機農業参入促 進協議会	有機農業の推進に取り組む自治体の 現状と課題：アンケート調査結果を もとに	A-1
9:20- 9:40		久保田裕子	国学院大学	有機農業「提携」運動の連携強化を 求めて：第7回提携 CSA 国際シン ポジウムと「提携」の元祖・大平農園	A-2
9:40- 10:00	谷口葉子 (宮城大 学)	胡 柏	愛媛大学	カリフォルニアの有機農業：実態と 示唆	A-3
10:00- 10:20		浅岡みどり	立教大学大学院	語りからみたカリフォルニア州サン タクルーズのオーガニック事情：な ぜ人々は CSA を選ばないのか	A-4
10:20- 10:40	中塚華奈 (大阪商業 大学)	板井広明	お茶の水女子大 学ジェンダー研 究所	食の倫理と有機農業：徳倫理から功 利主義へ	A-5
10:40- 11:00		山本奈美	京都大学大学院/ 耕し歌ふあーむ	野菜セットというオルタナティブな 食の実践：野菜を調理し、食べる－ 提携における社会実践の形成と再生 産	A-6
11:00- 11:20	澤登早苗 (恵泉女学 園大学)	本城 昇、尾 形友聡、小野 雄希	埼玉大学	柳宗悦の民芸思想と有機農業	A-8
11:20- 11:40		本城 昇・小 池大勝・秋智 元	埼玉大学	民舞への取組と有機農：埼玉大学有 機農業研究会の民舞への取組	A-9
12:00-12:40 総会 (昼食)					

個別報告一覧 (B)

12月9日 B会場 (2336小講義室) 9:00-11:00

時間	座長	発表者	所属	タイトル	番号
9:00- 9:20	岩石真嗣 (自然農法 国際研究開 発センタ ー)	井上 駿 ¹⁾ 笹村 出 ²⁾ 根守良一 ²⁾ 吉宮直美 ²⁾	¹⁾ 技術士事務所井 上農研 ²⁾ あしがら農の会	あしがら農の会の有機稲作 25年	B-1
9:20- 9:40		嶺田拓也	農研機構・農村工 学研究部門	有機水田の新たなリスク：対策が難 しい侵略的外来草種の侵入	B-2
9:40- 10:00		三浦重典 ¹⁾ 吉田隆延 ¹⁾ 陶山 純 ²⁾ 飯田一博 ²⁾	¹⁾ 農研機構・中央 農業研究センタ ー ²⁾ みのる産業株式 会社	水田用小型除草ロボットの抑草効果 と技術的課題	B-3
10:00- 10:20	新美 洋 (農研機 構・九州沖 縄農業研究 センター)	小松崎将一	茨城大学	有機栽培ダイズの持続性評価の試 み：茨城大農場での長試験圃場結果 から考える	B-4
10:20- 10:40		渡邊芳倫 木村純平 金子信博	福島大学	様々な保全型農地における、栽培年 数ごとの土壌環境の比較	B-5
10:40- 11:00	嶺田拓也 (農研機 構・農村工 学研究部 門)	日鷹一雅 ¹⁾²⁾ 延安勇 ²⁾³⁾ 坂本重夫 ³⁾ 坂本圭子 ³⁾ 石岡敬三 ³⁾ 岩見潤治 ³⁾ 星野滋 ³⁾⁴⁾	¹⁾ 愛媛大学大学院 農学研究科 ²⁾ 世羅・御調自然 誌研究会 ³⁾ 広島県有機農業 研究会 ⁴⁾ 広島農業技術セ ンター	外来種スクミリンゴガイ (通称：ジ ャンボタニシ・稲守貝) から学んだ こと：野生生物種が馴化できない場 合と侵略性	B-6
12:00-12:40 総会 (昼食)					

ポスター発表 12月9日（個別報告会場前） 12:50-13:30

番号	発表者	所属	タイトル
P-1	稲垣栄洋 ¹⁾ 稲垣舜也 ²⁾	¹⁾ 静岡大学 ²⁾ 元静岡大学	有機野菜栽培ほ場に出現する雑草種の指標性の検証
P-2	高山耕二・園田大地・平野里佳・中村南美子・大島一郎・中西良孝	鹿児島大学	水田放飼した薩摩黒鴨 TM の行動と産肉性
P-3	松岡拓志	茨城大学	自然農法による育成品種の有用性の検証: 耕起・不耕起条件下での比較
P-4	関 浩一 ¹⁾ 長谷川守文 ²⁾ 小松崎将一 ²⁾	¹⁾ つくば牡丹園・東京農工大学連合大学院 ²⁾ 茨城大学	茨城県における芍薬の有機・草生栽培でのリビングマルチ利用について